

事業名	さとうきび反収向上対策事業
-----	---------------

総事業費	3,493 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		さとうきび10アール当収量の増加
事業の実績 と 成果	取組内容	農業振興公社へ作業委託をしたさとうきび生産農家へ作業料金の一部助成を行った。
	成 果	作業委託することで適期作業が可能となり、生産量の増加を図った。また作業料金や種苗代金の一部助成をすることで、経営の安定化へ繋げた。しかし、地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	国庫事業で作業料金の一部助成が補助対象となる場合があるが、台風などの自然災害発生時や12月補正予算にて事業の公募が始まるため、予算要求額と執行額に大きなズレが生じてしまう。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業振興公社に作業委託をしたさとうきび生産農家へ作業料金の一部助成で経営の安定が図られた。高齢化と担い手不足が加速される中、今後も継続が必要である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	反収を向上させる一環として、適期肥培管理を図るための農業振興公社への作業委託の推進だけでなく、夏植え・秋植えの新植推進を積極的に行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび種苗供給安定化対策事業
-----	------------------

総事業費	1,264 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		さとうきび10アール当収量の増加
事業の実績 と 成果	取組内容	原苗ほを設置し、優良種苗の増殖を行い、その増殖した苗をさとうきび生産農家へ供給（販売）した。
	成 果	種苗の更新により、生産量及び品質の向上を図った。しかし、地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	供給した種苗の病虫害被害の苦情や、県費（1/3以内）が毎年減額されており、原苗ほ設置者の負担が大きくなっていることから、原苗ほ設置者（設置面積）の確保に苦慮している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	種苗の育苗は、非常に重要であり、優良種苗をより多く供給することが、品質の安定及び収量確保に繋がることから、本事業は有効である。原苗ほ設置者の確保、栽培講習会、種苗配付、補助金交付事務（植付検査含む）供給した種苗の病虫害被害の苦情や、県費（1/3以内）が毎年減額されており、原苗ほ設置者の負担が大きくなっていることから、原苗ほ設置者（設置面積）の確保に苦慮している。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	優良種苗（無病苗）の原苗ほを設置し、種苗更新を推進する。
-----------	------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび基幹作業機整備事業
-----	----------------

総事業費	1,967 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		さとうきび生産量・生産額の増加
事業の実績 と 成果	取組内容	さとうきび機械共同利用組織や作業受託組織を対象に、さとうきび基幹作業機械（中耕培土機1台、全茎式植付機1台）の導入に係る経費の一部助成を行った。
	成 果	機械導入により受委託体制の強化を図り、生産量及び生産額の増加に努めたが、地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受委託体制の更なる強化を図るためにも、導入機械や実施主体の選定については、事業効果のより高いものを優先して実施していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	高齢化に対応するために機械化による作業の効率化を図り、受委託体制を強化することで生産量の確保につなげるために必要な事業である。今後も継続していくべき事業である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	機械導入による受委託体制の強化と耐用年数の超過したハーベスタの機能向上を推進する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	プロジェクト108推進事業
-----	---------------

総事業費	200 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		さとうきび及び澱粉用甘しょ10アール当収量の増加
事業の実績 と 成果	取組内容	反収向上と経営安定化を目的に、ドローン散布による薬剤効果試験、原苗ほのメイチュウ防除、秋植え原料苗供給、先進地視察などを行った。
	成 果	上記各種取組みを行い、10アール当収量の増加に努めたが、さとうきびにおいては、地力の低下やメイチュウによる種苗の被害、澱粉用甘しょにおいては、植付遅れによる肥大不足などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。しかしながら、反収を向上させるために生産現場で必要なことは、これまでの試験や調査から判明した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	反収を向上させるために生産現場で必要なことは、これまでの試験や調査から判明しているので、今後、縮小していく事業である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	幹事会や技術部会にて低反収の分析結果を報告し、解決へ向けた各種取組みを行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	援農隊マッチング支援事業
-----	--------------

総事業費	9,194 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		農業労働力不足の解消
事業の実績 と 成果	取組内容	農業従事者の高齢化や後継者の減少、経営規模拡大等により生じる労働力不足に対して農業雇用労働力を支援し、運営主体である市農業振興公社に補助金を交付する。
	成 果	運用主体である西之表市農業振興公社に補助金を交付することで、労働力不足の解消につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農閑期における援農隊の仕事の確保が課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業労働力不足の解消に貢献していると感じる。男性隊員より女性隊員の需要が多い。また、繁忙期と閑散期の差がある。運営経費について、令和2年度で国の補助金がなくなる。まちづくり公社へ事業を移すなど、いろいろ考えて存続していきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	昨年同様、農業労働力不足の農家に対して農業雇用労働力を支援する。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	西之表市農業振興公社支援事業
-----	----------------

総事業費	7,234 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		業務運営の適正化及び健全化を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	農業の技術と経営感覚を習得させる機関として営農大学校を運営し、新規就農者の確保する。また、西之表市農業振興公社の業務運営を支援する為に、農業用機械の更新を行った。
	成 果	営農大学校において令和元年度は1人入学し、生徒は2人となり、農業の技術と経営感覚を習得させる機関として運営した。また、西之表市農業振興公社の農業用機械の更新を行い、業務運営を支援した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	営農大学校の生徒の確保と老朽化した農業機械の計画的更新。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業者の高齢化と担い手不足が進む中、西之表市農業振興公社の役割は今後さらに重要になってく。そのため、公社の運営支援は必要である。新規就農者育成のために営農大学校を運営しているが、入学者が少ない。魅力のある（儲かる）農業にすれば、おのずと若者は集まってくるので、まず、そこをどうにかしないとである。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市農業振興公社の業務運営を支援する。また、農業の技術と経営感覚を習得させる機関として営農大学校を運営し、新規就農者の確保する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	担い手育成推進事業
-----	-----------

総事業費	967 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		担い手等の経営改善を支援
事業の実績 と 成果	取組内容	各協議会への負担金交付及び補助金交付
	成 果	担い手育成に向け活動している協議会の運営支援及び個人に対して機械導入の支援を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	認定農業者も高齢化してきており、5年後、10年後を見据えて、若い担い手の育成が求められている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	若者が集まった後の支援の道筋はできている。あとは若者をどう集めるかであり、本市の農業を魅力あるもの（儲かる）にすれば、自然と若者は集まってくる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	昨年同様、将来の市の農業を担う農家を育成し、経営安定を支援する。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	西之表市公社育苗ハウス事業
-----	---------------

総事業費	0 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		苗床を増設し、苗の提供数を増やす。
事業の実績 と 成果	取組内容	育苗施設（鉄骨ハウス）の改修によって苗床を増設した。
	成 果	優良苗の提供数が増えた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	30年度は補助事業を活用できたが、31年度からは財源確保が難しい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	良いものを作るには良い苗でなくてはならない。良い苗を作るための育苗施設であるが、計画的に補修をするための財源確保を今後さらに協議していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	育苗施設の改修を行い、農業所得の向上につなげていく。
-----------	----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農業人材力強化総合支援事業
-----	---------------

総事業費	19,161 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		新規就農後、定着してもらう。
事業の実績 と 成果	取組内容	農業次世代人材投資資金の交付 交付対象者との面談、指導
	成 果	認定新規就農者に農業次世代人材投資資金を交付し、定着させることで担い手の育成につなげていく。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	対象者がしっかり農業をしているか確認し、経営安定に向けて指導することが難しい。 対象者に対し、専門的な指導を要するため、関係機関との連携体制の確立が急務。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業次世代人材投資資金を交付することで、新規就農者の支援をしているが、5年後一人前の農業者としてやっていけるのが1割程度である。費用対効果が低いのが現状である。交付対象者の農業への本気度が足りない。県やJAの指導員が少なくなっているのも問題である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	これまで同様、新規就農者を対象に農業次世代人材投資資金を交付し、就農後の定着と担い手育成につなげていく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	人・農地プラン推進事業
-----	-------------

総事業費	586 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	地域の中心的経営体（担い手）と農地の出し手となり得る農家を明確化する。 人・農地プランの実質化	
事業の実績 と 成果	取組内容	工程表を作成することで実質化に取り組む対象地区が明確化された。 アンケートにより農地の貸付意向や後継者の有無等を把握できた。 地図を作成したことにより農地の現状や5年後の状況を把握することができた。 地域の農業の在り方や今後を担う中心経営体は誰なのか等話し合うことができた。
	成 果	1回の話し合いでは、なかなか地域農業の在り方や中心経営体の将来展望を明確化するのは難しい。何度も話し合いを重ねる中でより良いプランが策定できると思うが、28地区62集落を1年で複数回開催するのには限界がある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	1回の話し合いでは、なかなか地域農業の在り方や中心経営体の将来展望を明確化するのは難しい。何度も話し合いを重ねる中でより良いプランが策定できると思うが、28地区62集落を1年で複数回開催するのには限界がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	人・農地プランの実質化に向けて集落・地域での話し合いが開催した。あと市内25地区で話し合いをしなければならないが、コロナウィルスによって、話し合いが開催できなくなっている。令和2年度で実質化を完了しなければならないが、先行きが不安である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	西之表市人・農地プラン（28地区）のプランを実質化できるように今年度集中的に取り組む。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	5～10年後の農地利用に関するアンケート調査の結果を基に、農業者の年齢階層別の就農や後継者の確保の状況を地図化し、プランの地域ごとに地域の農業の在り方や今後を担う中心経営体に関する方針等について話し合いを行った。

事業名	農地集積バンク事業
-----	-----------

総事業費	1,768 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		農地を地域の中心的経営体に集積する。
事業の実績 と 成果	取組内容	農地貸借の相談業務・貸借書類の作成・現地確認・協力金該当の審査・協力金交付申請事務・調査への回答。
	成 果	中間管理事業を活用した農地が増えた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	中間管理事業を活用した農地が増えた。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	中間管理事業を活用すればするほど事務量が増えていく現状が見えてきた。 今後、国はさらに事業を推進していく方向だが、このままでは担当がパンクするのは明らかなので、農業委員会と協力して体制づくりをしていきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	地域集積を進めていく。
-----------	-------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	有害鳥獣対策支援事業
-----	------------

総事業費	16,507 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		鳥獣被害軽減を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	有害鳥獣捕獲の実施主体となる猟友会への運営補助の実施。 従事者への捕獲に伴う報償金を支払うことにより捕獲意欲を高める。 有害期間外の緊急時に実施隊への依頼により早急な対応を行った。
	成 果	猟友会との情報共有により、従事者へスムーズな情報伝達ができた。 報償金によって、計画した捕獲数が達成できた。 シカネットの設置ほ場が増加したことによるネットへの絡まりに対して、実施隊への依頼で早急に対応できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	シカの捕獲計画数を増加させたことから、従事者の捕獲意欲維持が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	引き続き農作物への被害軽減のために継続が必要である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	シカ捕獲計画を3000頭に増やし、個体数減を目指す。
-----------	----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明